

燕岳&常念岳山行報告

【山行日】 2015年 8月 7日～9日(金～日)
【集 合】 岩舟支所P AM 4:30
【費 用】 マイカー1台 : 29,000円
【メンバー】 CL:鈴木 大西、岩淵、香川、中田、
渡辺

7日 晴れ 中房温泉登山口から、合戦尾根を登り
燕山荘から燕岳ピストン

岩舟支所P4:30＝安曇観光タクシー7:05/7:15＝中房温泉
登山口 7:50/8:15～第二ベンチ 9:45～合戦小屋
11:00/11:15～燕山荘 12:30/14:30～燕岳 15:05/15:15～
燕山荘 15:45

今回の山行は、私が「是非泊りたい山小屋」と希望した『燕山荘』に泊る山行です。



朝4時半に集合出発。今日は楽しみにしていた山行なので朝からワクワクでした。

6人のメンバーは、高速を使って一路安曇野に向かいました。

豪華な大型タクシーに乗り換え 1462mの中房登山口に8時前に着き、トイレと準備体操を済ませ出発します。最初から急登で、これは手強い山だと気を引き締めて登り始めました。

第2ベンチにて休憩して直ぐに出発。合戦小屋に着けば

美味しいスイカが待っていると、食べ物に釣られて必死に登りました。

11時にやっと合戦小屋に着き、お目当てのものを見ると、この場所の高度も高いがスイカの値段も高いではないか！しかし、購入。食べるととても甘くて美味でした。

食べ終わると出発し一路燕山荘に向かいます。

今度は美味しいビールが待っているぞ！に足は前に進みます。

この辺になると槍ヶ岳が見えてきました。スゴイ近いところに槍ヶ岳がある！感動×10＝メッチャ感動！

お花畑なども出てきて、遠くに燕山荘が見えてきました。



そのあたりから、片側が崖のところなど気の抜けない登山道になりました。

山小屋は見えるけどナカナカ着かない。高度も高いので息も切れて必死になってきました。

やっと燕山荘に着いたと同時に燕岳が見えて、一気に素晴らしい景色にかわりました。

北アルプスの山々が一望のもと見え、大パノラマが広がっていました。

12時半に到着して、山ご飯のラーメンを食べてから、燕岳に登りました。

有名なイルカやメガネの岩があり、そこを通過して3時に頂



上に立ちました。

最高の気分を味わってから山小屋に戻り 外のテーブルで、お約束のビールで乾杯して、ワインを飲みながら北アルプスの眺望を堪能しました。いよいよ楽しみしていました夕ご飯です。夕御飯はご馳走でした。ハンバーグにトロリとチーズが入っていてビックリでした。山荘のオーナーにアルプホルンの演奏をしていただきながら、至福の時間を過ごしました。食べ終わり夕日を見るために外に出て、究極のパノラマに夕日が沈むのを見ました。

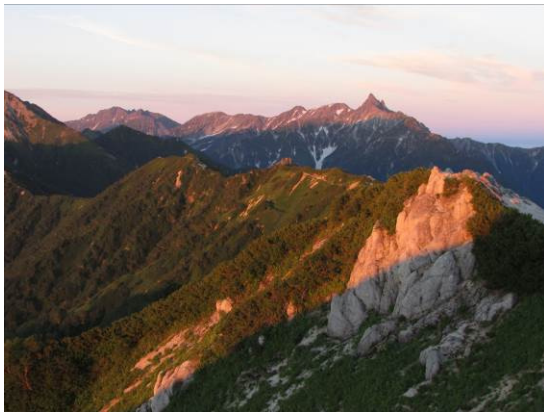
こんな贅沢な山小屋あるんでしょうか？と思いながら

明日に備え眠りに就きました。

M・I記

8日 快晴 燕山荘から表銀座縦走コースを通り大天井岳へ登り、東天井岳・横通岳と縦走して常念小屋へ

燕山荘 6:00～大下りの頭 6:50～喜作レリーフ 8:50～大天井岳 9:30/10:05～東天井岳 11:20～横通岳 11:50/12:25～常念小屋 13:10



昨日の天気も良かったが、今日も朝から上天気のようにです。

4時起床をし、4時半からの朝食を食べるため食堂入口に並びました。早朝でもすでに大勢の登山客が並んでいます。昨夜オーナーから夏バテ・足攣りには梅干しが良いと聞き、朝食にたくさんの梅干しが用意されているのに関心しながら食べました。出発が6時なので、落ち着いて身支度を整えられました。

朝食後の日の出ショーも、360度の山岳パノラマが味わえて素晴らしかったです。

6時に燕山荘を後にして、砂礫地にコマクサが咲く尾根筋を歩きます。以前は槍ヶ岳を登る為の通過点であって辛く大変な歩きしか記憶にありませんが、燕山荘に一泊してから大天井岳(2922m)を目指すのは気持ちに余裕が出来、ゆっくり展望を楽しみながら歩きました。

途中、鎖の切通し岩を下った所に、このルートの子供と2人で3年かけて作った、小林喜作を讃えたリレーフが岩に掲げられています。そこで全員の記念写



真を撮りました。

そこから少し登ると喜作新道の分岐が出て、槍ヶ岳へのコースから別れて一登りすると大天荘に着きました。ここで休憩をとり(トイレが綺麗なのには驚かされた)大天井岳山頂へ向かいます。

今日も快晴で素晴らしい眺望に、時間も忘れて景色を眺めていました。





“最高で～す”一日眺めていたい気持ちを抑えて大天荘に戻り果物休憩をとり、緩やかな稜線を進みました。東天井岳(2814m)をトラバースし横通岳(2767m)に向かう途中ライチョウが現れしばしば見入ってしまいます。サルも群れを作り遊んでいるように見えるが……暑い中大変そう。お花畑も高山植物が咲ききれいです。横通岳山頂手前の広場で昼食タイムとしました。いつものラーメンも汗を流した体に浸み込んでいくようです。山のラーメンは体を元気にしてくれます。“ご馳走様です”いつもありがとうと感謝しながらいただきます。

ここからは一時間弱の下り、・・・眼下に小屋の屋根が見えてきました！

今日もビールが待っているようです。

常念乗越(2466m)に着きました。小屋は混んでいるようです。でも一部屋がもらえて超ラッキーです。早速部屋に入り体の汗を拭きとってさっぱりしました。持ち寄ったおつまみでビールやワインを味い至福のひと時。“おいしいね！”天气に恵まれ北アルプスの名峰をたくさん眺め、これから登りたい山が頭にインプットされたようです。

槍・穂高連峰を間近に眺めながら歩け、こんなに贅沢なコースはここ以外にはないでしょう。！！

天气に恵まれ、素晴らしい眺望を堪能しながら歩け、本当に幸せでした。

夕食を楽しんで明日登る常念岳(2857m)が楽しみです。

明日は3時起床です。おやすみなさい。



大西記

9日 晴れ 常念岳頂上からご来光を仰ぎ、常念小屋から一ノ沢登山口へ下山し、温泉で汗を流し岩舟支所へ

常念小屋 3:30～常念岳 4:45/5:10～常念小屋 6:00/7:00～胸突八丁 7:45～王滝ベンチ 9:10～一ノ沢登山口 10:00/10:20＝四季の郷 11:20/12:10＝あっちゃん寿司 12:35/13:40＝岩舟支所 P16:30



本日は常念岳に登り、蝶ヶ岳まで縦走して三股に下る予定だったが、足に自信が無いということで常念岳をピストンし一ノ沢へ降りることにした。

朝3時に起床し、サブザックにレインウエアーや水、行動食を詰め、3時半に出発し常念岳に向かった。

ヘッドランプの明かりを頼りに、登山道を探しながら頂上を目指す。先行者のランプが、はるか上に輝いて見える。下からも、沢山の光が追いかけてくる。暗闇の中黙々と登り、着々と高度を上げて行く。

一時間程登ると明るくなり、周りの景色が見えてきた。

た。やがて傾斜が緩み、山頂の岩塊が見えてくる。

最後の急な岩場を登りきると、展望盤と小さな祠が置かれた、常念岳の頂上に飛び出す。

360度を見晴らす展望が開け、とりわけ西に展開する槍・穂高連峰の大パノラマは圧巻で感動的だ。

皆さんも笑顔で握手。ご来光を拝み、それぞれが思い思いの写真を撮りまくっていた。

山頂の少し下でティータイム。温かいお茶に、菓子やミカンで空いたお腹を満たした。



雄大な展望を満喫したら、常念小屋に戻り朝食をいただく。空いたお腹に、ご飯とみそ汁が最高に美味しかった。トイレを済ませ、ストレッチをして一ノ沢へ向かって下山開始。常念乗越から少し下ると灌木帯となり、ジグザグに降りて行く。2つ目のベンチで衣服調整の小休止。急な下りをハイペースで降り、胸突き八丁を降りた所の沢で休憩をとり、オレンジを剥いて美味しくいただく。

ここからは一ノ沢に沿って下り、沢からのマイナススイオンに癒されながら快適に歩く。

先頭の O 嬢の足取りが軽く、コースタイムより早いペースで軽快に進む。烏帽子沢を渡った所で2回目の休憩をとり、梨を剥いて水分を補給する。ここからもハイペースで下り、王滝ベンチの先で最後の休憩をとる。ここまでくれば、一ノ沢登山口はもうわず

か。老木のトチノ木の根元に祠が置かれた「山ノ神」を過ぎ、緩やかに登って下ると登山口に着いた。予定より早く着き、予約したタクシーはまだ来ていなかった。

登山指導所の休憩室で、お茶をいただいてタクシーを待つ。予約時間ジャストにタクシーが着き、2台に分乗して安曇観光タクシーへ向かう。タクシー会社の駐車場で愛車に乗り換え、温泉に向かった。

いつもの温泉「ほりで一湯四季の郷」で3日間の汗を流し、あっちゃん寿司で昼食をいただく。本マグロの解体ショーがあり、美味しいマグロを心ゆくまで堪能し至福のひと時。

帰路の高速道も順調に走り、コース変更もあって岩舟支所に予定よりも早く着くことが出来た。先週に続き、3日間晴天に恵まれ北アルプスの素晴らしさを十二分に堪能できた山行となった。

